

矢入幸一

1992年生まれ。武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科卒業。自らをグラフィックアーティストと名乗り、主にモノクロのオールドカートゥーンスタイルを基盤に、ペイントや印刷技法を組み合わせた独自の表現を展開している。多様な形にシェイプされたキャンバスや、デジタルとアナログを組み合わせた「技法のコラージュ」によって、ポップでありながら静寂と繊細さを併せ持つ作品を制作。東京を拠点に、レコードジャケット、キャラクターデザイン、アパレルなどのグラフィックも手がける。2021年にMoosey Art(ロンドン)で「AVALANCHE」、Shabi(ソウル)で「GHOST & XXXX」、2022年にGALLERY TARGETで「SCENE」、2023年にcassette(福岡)で「PLANET CHERENKOV」、香港で「THREE HUNTERS & THE GOLDEN ROCK」を開催。2024年にはSAI(東京)にて、GALLERY TARGETとの共催による過去最大規模の個展「KOICHI YAIRI 24,#1」を開催した。